

padletの活用を通じた学生同士の意見交換

原口 友輝

2021年度春学期の「道徳教育の理論と実践」（教職科目）で、padlet（パドレット）というオンライン掲示板を活用した。本学MaNaBoのBoardやForumの掲示板よりも利用者同士の意見交換がしやすい。また、作成者（教員）も直感的に利用しやすい。以下、padletを実際にどう活用したか述べる。



（図1：padlet活用例1）

（図2：padlet活用例2）

【オンデマンド（左）】

こちらの指定するHPを見たうえで、印象に残った事実を一つずつ記入してもらった。情報量の多いHPの内容を、（結果的に）協力して整理する活動である。

【リアルタイム（右）】

授業中に指名した学生に投稿させ、その投稿を互いに閲覧させた（Zoomの画面でも共有した）。チャットなどと違い、学生が入力中であることがこちらにわかるのありがたい。また、投稿をこちらで簡単に配置し直せるので、内容に応じて整理しやすい。

なお、リアルタイム授業の際は、設定において「新しい投稿の挿入位置」を「最後」にした方が、投稿する側も見ている側も分かりやすい。

【プライバシー設定について】

一度作った掲示板は「リメイク」機能で簡単にコピー（複製）できる。ただし、その際に共有設定が自動で変わってしまうため、「メンバーとプライバシー設定をコピー」にチェックを入れるか、リメイク後の掲示板の「共有」の「プライバシー設定を変更」で「シークレット」を維持しつつ「訪問者の権限」を「書き込み可能」にしておかないと、利用者が新しい方に書き込めない。最初に作った掲示板の初期設定は「シークレット」になっており、サイトURLを知っている者なら誰でも書き込みできる。もちろんアカウントでログインしている者のみに投稿を許可する設定にもできる。

【その他】

投稿を padlet 内の他の掲示板に簡単にコピーできる。また、投稿を PDF やエクセルファイルにエクスポートできるので、学籍番号を記入しておいてもらえばエクセルで名簿順にすることもできる。

padlet の難点は、掲示板を複数同時に作成・コピー（複製）したり、設定を一覧で見たりすることができないことである。複数の授業で同じ設定の掲示板を作る際には、一つずつ「リメイク」と設定のチェックをしなければならず、地味に面倒である。